

博士課程と 多様なキャリア

博士課程での研究をへて、大学教授職とは異なる領域で力を発揮したいと考えた場合、どのような選択肢があり、どのようにすれば職を得ていくことができるのでしょうか。

本講習会では、(1)人文・社会科学系博士課程院生の多様なキャリア選択の現状について一般的な情報を提供します。また、(2)大学教授とは異なる立場で活躍している「先輩」を招き、博士課程での研究と就職活動の両立をめぐる諸問題、現在の仕事と博士課程での経験との関連性等についてお話しいただきます。

お気軽にご参加ください。

- 対象者 女性本学大学院生・ポスドク（研究科、課程を問いません）
- 日時・場所 **11月25日（水）16:00～19:00 @本館22番教室**
- 参加申込先 キャリア支援室・大学院生担当（宮澤）career-grad@dm.hit-u.ac.jp
●できるだけ**事前申込**（氏名・研究科・学年を明記）をしてください

登壇者

野村 嗣 氏(株式会社アカリク)

人文系大学院博士後期課程にて西洋古代史の研究に従事する傍ら、2013年に文部科学省の長期インターン生として「大学院生のキャリア」について調査・提言を行う。現在は、大学院生・ポストドクターに特化した就活支援サービスを提供する株式会社アカリクにてキャリアコンサルタントとして活動。人文・社会科学系の博士課程の大学院生・ポスドクを含めて年間200人以上の大学院生のキャリア相談や企業の採用に関するコンサルティングサービスを行っている。

小泉 めぐみ 氏(公益社団法人 日本租税研究協会)

2014年3月一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。専門は租税法(法学博士)。
1998年4月より株式会社三菱総合研究所研究員として金融機関向けのコンサルティング業務に従事。2011年に退職後、本校博士後期課程に入学。現在は日本租税研究協会研究員として税制に係る研究活動および政策提言に取り組む傍ら、税理士として、二児の母として活動中。

岩崎 茜 氏(日本科学未来館)

2012年3月一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。専門は環境倫理学(社会学博士)。
2012年4月より日本科学未来館(東京・お台場)で科学コミュニケーターとなり、地球規模課題の対話活動などに取り組んでいる。2014年4月からは東京農工大学工学部非常勤講師(現代倫理論)を兼務。

五十嵐 理奈 氏(福岡アジア美術館)

2012年3月一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得退学(文化人類学)。在学中に「ベンガルの刺繍カンタ」展(2001年)に携わった後、2003年4月より福岡アジア美術館の学芸員。これまでに調査し企画した展覧会は、バングラデシュ現代美術作家の個展(2007年)、「魅せられて、インド。」展(2012年)、ミャンマー80年代美術(2012年)など。専門は、アジアの視覚文化、近現代美術。